

EMS

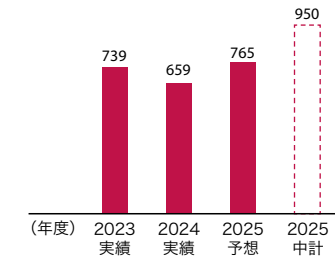
執行役員 EMS事業部長
前野 蔵人

事業部長メッセージ

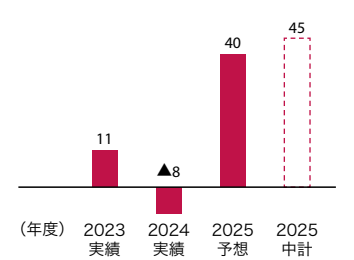
医療メカトロ、航空宇宙、半導体、産業機器、情報通信など、社会を支える幅広い事業領域で、お客様のハイエンドなプロダクト創出にEMSグループの技術力とモノづくり力を提供しています。

変化の激しい市場環境の中で、お客様は「持たない経営」や国内生産回帰といった複雑な経営課題に直面しています。OKIは、高品質かつ信頼性の高いモノづくりのバリューチェーンを「まるごと」カバーする体制でお客様と共創し、これらの課題解決を支援していきます。また、AIや航空宇宙など、成長が期待される分野を中心にグローバルな競争力を強化し、持続的な発展を目指します。

売上高（億円）

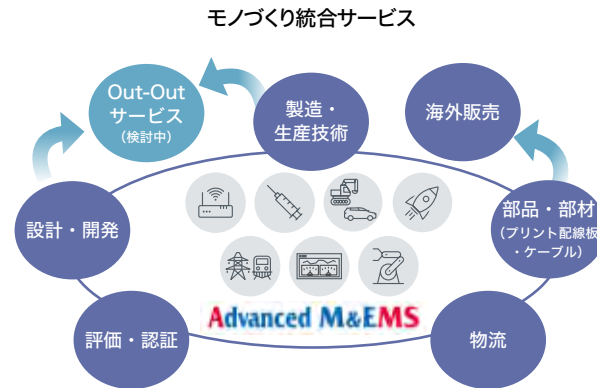


営業利益（億円）



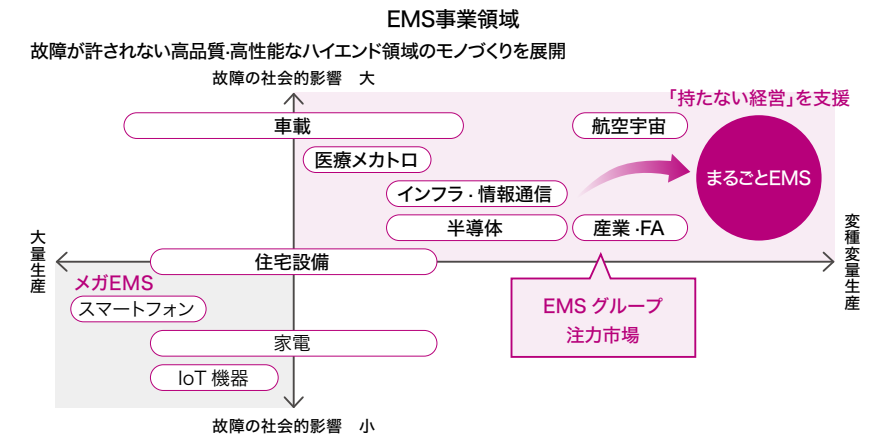
事業概要

変種変量、高品質、高付加価値のモノづくりをワンストップでお客様へ提供しています。主に「EMS・DMS事業」「部品事業」「エンジニアリング事業」で構成され、長年のOKIの生産で培ってきた技術・ノウハウを付加価値とするモノづくりの上流から下流までのあらゆるプロセスを、EMSグループ連携により、幅広く提供します。



事業方針

お客様の困りごとを生産面で支える製造プラットフォーマーを目指します。OKIのモノづくりを通じて商品化を実現する中で蓄積された「ノウハウの詰まった設計・製造のプロセス」や、「部品・モジュールとして共通化したプロダクト」を、プラットフォーム化された商品・サービスとしてお客様へ提供することで、お客様の社会課題解決に貢献していきます。



事業環境の認識

機会

- ・カントリーリスク拡大による国内生産回帰
- ・人手不足による生産アウトソーシングの拡大
- ・AI半導体関連市場やFAロボット・航空宇宙市場などのグローバルな成長

脅威

- ・国際的な地政学リスクによる顧客需要の不安定化
- ・原材料やエネルギー価格高騰、人件費や物流費上昇などによる費用増加

事業の強み、課題

強み

- ・変種変量生産やシステム活用による効率化など、高品質・高信頼性なモノづくり
- ・ハイエンド製品を実現する超高多層基板技術や高屈曲性技術の継続的な進化
- ・顧客ニーズに合った評価・認証支援サービスの提供

課題への対応

- ・人手不足に起因する生産能力不足に対し、自動搬送機などのロボット導入による省人化
- ・コスト競争力不足に対し、VE[※]や自動化による原価低減

※VE (Value Engineering)：製品の品質や信頼性という機能的評価を低下させずに、生産コストなどの低減を行う方法

EMS

中期経営計画2025の進捗と今後に向けて

中期経営計画2025の重点施策であるEMSからDMSへのビジネスモデルシフトや、収益力の高い部品・エンジニアリング事業への成長投資などに取り組んできました。「まるごとEMS」案件の獲得や新技術開発による新規部品案件の獲得、新評価サービスのリリースなどの成果も表れてきています。

国内生産回帰に伴うEMS・DMS事業のさらなる拡大や、AIや航空宇宙分野に向けたグローバル拡販、顧客ニーズに密着した新規評価サービスの提供などによる売上の伸張とともに、生産ロケーションや投資の最適化による収益力強化も進め、事業成長を目指していきます。

重点施策

- ① EMSからDMSへのビジネスモデルシフト
 - ・DMS売上比率を拡大し、大規模で付加価値の高い新規案件の獲得を目指す
- ② 部品・エンジニアリング事業拡大
 - ・半導体や工作機械・FAロボット市場の成長に追随する生産能力拡大に向けた投資
- ③ 海外売上への拡大
 - ・部品事業は優良顧客との共創関係強化
 - ・EMS・DMS事業はOut-Outビジネス※にチャレンジ

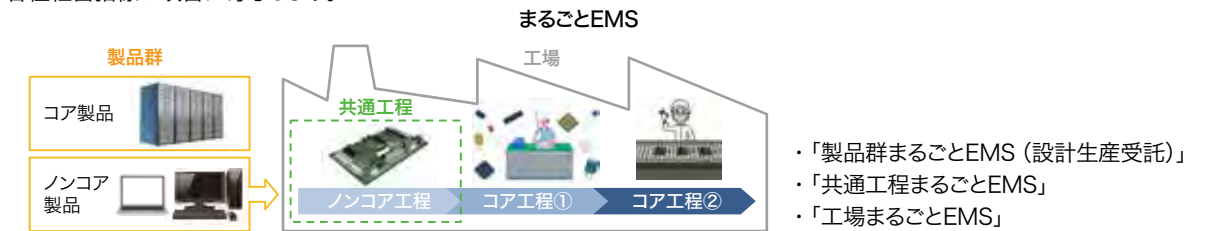
※ Out-Out ビジネス：お客様の海外向け製品を OKI の海外拠点で製造受託するサービス

進捗

- ① カントリーリスクや国内生産回帰の需要に対応し、「まるごとEMS」新サービスの提供を開始。受注済み案件は立ち上げを完了し、量産フェーズへ移行。さらにARMやEfinixとの技術提携による高付加価値の創出を推進
- ② 部品事業では、AI半導体・航空宇宙などの領域拡大に向けた技術開発に注力（TOPICS参照）。エンジニアリング事業では、メーカータイアップ校正など、顧客密着の新サービス創出
- ③ 部品事業での高品質・高性能な尖った技術を強みに海外営業体制を強化し、新規案件の引き合い堅調（AIサーバー・航空宇宙・防衛向け案件など）

■「まるごとEMS」サービスを開始

企業の製造に関する「持たない経営」を支援する、商品企画以降の開発から生産までのプロセスをまるごと提供するサービスを開始しました。お客様の工場への投資軽減と、最新の生産設備・技術の活用を両立し、成長分野・コア事業への経営資源の集中を可能にします。また、需要変動への追従、製品群の転換、事業の転換や撤退も容易となるなど、工場の運営リスクを軽減し、各種経営指標の改善に寄与します。



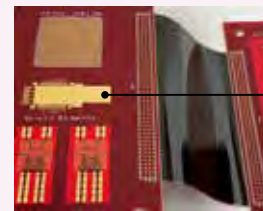
詳細は、以下プレスリリースをご参照ください。
企業の経営課題を解決する3つの「まるごとEMS」サービス開始

■DMSサービスでお客様との共創を強化

お客様の開発現場へ出向き、共創して設計開発を行う「オンサイトDMS」サービスを展開していきます。柔軟で機密性の高い対応を、オンサイト開発からEMSの製造受託へシームレスに連携することで実現し、お客様の新規立ち上げを着実に支援します。

TOPICS 価値創造マテリアリティ | 安心・便利な社会インフラ／働きがいと生産性向上

次世代の防災やインフラ維持管理、通信インフラなどでますます重要性が高まっている宇宙分野に向けて、高放熱性や薄型化が可能な基板やFPC（フレキシブルプリント基板）を開発しました。高機能モジュールの小型軽量化により、高い機能性を持つモジュールを人工衛星などに搭載でき、社会インフラの高度化に貢献します。



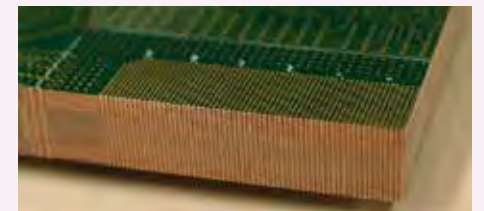
銅コイン

宇宙機器向けに放熱を強化した
「銅コイン埋込フレックスリジッド基板」を発売



ニュースペース向け
「小ロット対応カスタム長尺FPC」販売開始

大規模AIの活用拡大に伴い、AIは社会の重要なインフラの一つとなってきています。これを受けて、AI関連半導体はますます高集積化・高速化しています。OKIは、技術開発を通じて、生産性のさらなる向上に貢献します。



次世代AI半導体の検査装置用
124層PCB技術を開発